

事業所名

しながくどう福岡東

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和 7年 3 月 10 日

法人（事業所）理念	私たちは利用者の利益を最優先に考え、子どもたちの未来の可能性を広げる支援と心の自立を大切にしたい 関わりを提供します。多様で専門的な視点から支援を行うため、多職種が協働し、セラピストをはじめとする専門職が総合的に関わりながら、科学的根拠に基づいた療育に取り組みます。		
支援方針	子どもたちの困り感について、脳のネットワーク機能の障害に基づいた視点と5領域を網羅した視点で捉え、アセスメントを実施します。アセスメント結果を分析し困り感の理由を分析してきます。また、活動に子どもたちを無理に合わせるのではなく、子どもたち一人ひとりに適した活動を提供するため、個別または小集団での活動を計画・実施します。		
営業時間	10 時 0 分から 19 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	健康生活の支援では、子ども一人ひとりの特性に応じた生活習慣の定着を目指します。発達障害のある子どもには、視覚的支援を活用しながら食事・睡眠・運動のリズムを整えるサポートを行います。肢体不自由の子どもには、適切な体位変換やリハビリ的運動を取り入れ、無理なく健康を維持できる環境を整えます。また衛生管理やリラックス方法をみにつけることで、自己管理の力を育み、心身の健康を支えます。	
	運動・感覚	発達の基礎となる感覚や運動面に対して机上での活動に加えて、トランポリンや平均台などのツールを活用しながら、遊びの要素を取り入れた療育を行っております。また、一人ひとりの能力や特性に応じて、個別療育に適した静かな個室環境や、のびのびと身体を動かせる広い空間での療育を行い感覚や運動面の発達を促しています。	
	認知・行動	思考力や判断力、自己制御力の基盤を築くために、認知機能や実行機能の向上を目的とした支援を行います。具体的には、「聞くトレーニング」を通じてワーキングメモリを強化し、指示の理解や情報の保持力を高めます。また、「指示ゲーム」や「ルールのある遊び」を取り入れることで、認知的柔軟性や計画性を養い、状況に応じた適切な行動の選択を促します。さらに、「デュアルタスク」によって注意分配や課題処理能力を向上させ、学習や日常生活の困難を軽減します。これにより、感情のコントロールや対人関係のスキルが向上し、自信を持って行動できる力を育みます。（アセスメントを基に個々に応じた支援課題を実施します）	
	言語コミュニケーション	視覚的、聴覚的支持理解を支援し、指示を正確に理解し行動に移す力を育てます。語彙、語想起の力を高め発達を促しながら伝える力や説明力を支援していきます。また、状況に応じてドロップトークやジェスチャーなどを活用し個々にあったコミュニケーション能力の向上を目指していきます。	
	人間関係社会性	ルール遊びを含めた集団活動の中で、言語指示やルール理解・注意の切り替えや自己感情の抑制機能を高めることができます。そして、相手との適切な距離感を保つこと、立場や気持ちの理解・共感する力をサポートすることで良好な人間関係を築くことができます。また、お買い物学習や公共交通機関のマナーを学習することで場面に応じた適切な行動が取れるよう社会性の発達を促していきます。	
家族支援	家族支援では、ペアレントトレーニングや相談を通じて発達障害や肢体不自由児の理解を深め、家庭での対応を支援します。交流会で情報交換の場を提供し、レスパイト支援により保護者の負担軽減を図ります。	移行支援	移行支援では、日常生活スキルや金銭・時間管理の練習を通じて自立を促します。職業体験や進路相談を行い、学校や福祉施設と連携しながら将来の選択肢を広げます。社会での生活に向けた実践的な支援を重視します。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 各種関係機関(学校、相談員、児童相談所)との情報共有 福祉サービスとの連携 地域イベントへの参加 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内研修、カンファレンス 療育協会内の各部会研修会 外部研修会への参加
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 季節行事(七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会など) 外出訓練、調理活動 保護者向け研修会 		